

2023年度（第38回）レーザ安全スクールを実施

当協会は、第38回レーザ安全スクール第1期を2023年10月23日～27日、第2期を2023年12月11日～15日に東京・芝公園の機械振興会館にて実施した。

本スクールはレーザ機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザスクール」、「レーザ安全スクール」と改称し、本年度38回目として実施した。本スクールの内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザ製品の安全基準」及び関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅し、光加工、光通信、レーザ医療等の各分野に従事するレーザ機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとしている。

受講者数を各コース別に下表に示す。今回は前回まで実施していたIコースの講義の一部をS1コースに移管した上でIコースを廃止し、従来の7コースから6コースに再編して実施した。

2024年度は10月～11月に今回と同様の対面形式で開催することを前提に準備を進めていく。

レーザ安全スクール コース別受講者数：単位（名）

コース名	今回*	37回	36回*	35回*	34回
Iコース：光・レーザ概論	なし	27	45	35	45
S1コース：レーザ工学の基礎	85	44	120	83	122
S2コース：レーザ安全の基礎	164	102	218	157	236
S3コース：レーザ応用機器の安全	61	37	78	41	91
S4コース：大出力レーザ機器の安全	70	40	81	74	105
M1コース：レーザ安全管理者	56	27	84	70	96
M2コース：レーザ安全技術者	39	20	48	30	51
合計（各コース受講者数の累計）	475	297	674	490	746

*第35回36回はオンライン開催